

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	矢板市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計	
1	地域共助型生活交通(コロナ矢板・玉田)運行事業	総事業費	1,622,031	2,550,000	2,550,000	2,550,000	2,550,000	11,822,031
		うち市町支出額	1,287,825	2,300,000	2,300,000	2,300,000	2,300,000	10,487,825
		うち県交付金	342,913	525,000	525,000	0	0	1,392,913
2	HAPPY HAPPY Project 推進事業	総事業費	1,022,511	300,000	300,000	300,000	300,000	2,222,511
		うち市町支出額	875,000	300,000	300,000	300,000	300,000	2,075,000
		うち県交付金	430,500	150,000	150,000	0	0	730,500
3	矢板駅前イルミネーション事業	総事業費	1,041,402	950,000	950,000	950,000	950,000	4,841,402
		うち市町支出額	800,000	800,000	800,000	800,000	800,000	4,000,000
		うち県交付金	400,000	400,000	400,000	0	0	1,200,000
4	片岡駅前イルミネーション事業	総事業費	795,243	515,000	515,000	515,000	515,000	2,855,243
		うち市町支出額	500,000	500,000	500,000	500,000	500,000	2,500,000
		うち県交付金	250,000	250,000	250,000	0	0	750,000
5	高校生まちづくり活動事業	総事業費	133,440	120,000	120,000	120,000	120,000	613,440
		うち市町支出額	100,000	100,000	100,000	100,000	100,000	500,000
		うち県交付金	50,000	50,000	50,000	0	0	150,000
6	ともなひ文芸祭り	総事業費	1,114,627	1,114,000	1,114,000	1,114,000	1,114,000	5,570,627
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	5,729,254	5,549,000	5,549,000	5,549,000	5,549,000	27,925,254
		うち市町支出額	4,562,825	5,000,000	5,000,000	5,000,000	5,000,000	24,562,825
		うち県交付金	1,973,413	1,875,000	1,875,000	0	0	5,723,413

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	地域共助型生活交通(コリーナ矢板・玉田)運行事業
事業主体の名称	コリーナ・玉田共助バス運営会
代表者の名称	会長 戸井出琉
事業主体の所在	〒329-1575 矢板市大槻2320-71 コリーナ矢板自治公民館内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:市営バス路線の見直しに伴い交通空白地となる沿線住民の移動手段を確保するため、地域共助型生活交通を運行する。 ・設立年月日:令和3年5月1日 ・構成員等:コリーナ矢板自治会員及び玉田行政区の住民
当該事業に係る地域の現状と課題	コリーナ矢板・玉田地区は、起伏のある地形を活かした住宅地であり、徒歩での移動が困難なため、市営バスの利用者が多く(令和元年度延べ2,044人)、片岡小学校からの下校にも市営バスが利用されている(令和元年度522人)。住民へのアンケート等の結果、定時定路線型の運行ニーズがあり、地域のニーズに合わせて柔軟に運行計画が作成できる地域共助型生活交通を導入する必要がある。
事業目的	地域住民の移動ニーズに合わせた移動手段の確保を通じて、高齢者支援や地域コミュニティの強化を図る。
事業概要	<p>地域共助型生活交通(道路運送法第78条第2項に規定された自家用有償旅客運送の一つ)により、住民ドライバー(指定された講習を受講した場合)が運転する自家用自動車1台で、コリーナ矢板・玉田地区の住民の輸送を行った。</p> <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運行内容の決定(R3.5) ・運転者講習(R3.6) ・運行マニュアルの整備(R3.6) ・車両の手配(R3.9納入) ・ドライバーの育成(随時) ・地域共助型生活交通「コリナ号」の運行(R3.9.21～) ・課題把握、改善(随時) <p>【令和4年度】</p> <p>上記の取組みの課題を把握、改善し、参画住民の増加を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる(基本目標4)</p> <p>【KPI】デマンド交通及び市営バス1日当たり乗車人数 令和7年度80人以上</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・運行内容の決定 ・運転者講習 ・運行マニュアルの整備 ・車両及びドライバー手配 ・保険加入 ・地域共助型生活交通の運行 ・課題把握、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共助型生活交通の運行 ・課題把握、改善 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域共助型生活交通の運行 ・課題把握、改善 		<ul style="list-style-type: none"> ・地域共助型生活交通の運行 ・課題把握、改善
事業費	1,622,031	2,550,000	2,550,000	6,722,031	2,550,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,287,825	2,300,000	2,300,000	5,887,825	2,300,000
うち県交付金	342,913	525,000	525,000	1,392,913	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	334,206	250,000	250,000	834,206	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総務部 総務課 管財担当
担当者名	高瀬 智明
電話	0287-43-1113
FAX	0287-43-2292
E-mail	kanzai@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	HAPPY HAPPO Project 推進事業
事業主体の名称	泉交流協議会
代表者の名称	会長 森戸康雄
事業主体の所在	〒329-2192 矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:魅力ある地域づくりのため、泉地区を中心とした観光・文化施設等のネットワーク化を推進し、地域間交流や情報発信等を実施することを目的とする。 ・設立年月日:平成23年11月30日 ・構成員等:活動の趣旨に賛同する企業・団体等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>平成27年度から「HAPPY HAPPO Project」として情報誌やホームページ、SNS等で情報発信に取り組んでいる。また、山縣有朋記念館、矢板武旧宅、山縣農場および矢板のリンゴが構成文化財となっている「明治貴族が描いた未来～那須野が原開拓浪漫譚～」が平成30年5月に日本遺産に認定された事が追い風となり、八方ヶ原や県民の森のエリアの観光入込数は年々増加している。</p> <p>その様な中、施設間の「横のつながり」が不足しているため、イベントや取組が単発となり、効果が薄く、一過性となっている。また、八方ヶ原の貴重な観光資源である大間々レンゲツツジの樹勢維持が喫緊の課題となっている。</p>
事業目的	道の駅やいた、観光案内所や各種イベントでの観光PR等とおして、泉地区を中心とした観光・文化施設の周遊促進および情報発信を図る。また、八方ヶ原の貴重な観光資源である大間々レンゲツツジの樹勢維持を図るための保護事業を行う。
事業概要	<p>施設間の「横のつながり」を強化するため、観光・文化施設等のネットワークを構築した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一大集客施設である道の駅やいたと連携し、PR事業を行った。 ・各施設との共同による市外でのPR事業を行った。 <p>【令和3年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光PR事業(道の駅等での観光PR事業、HP・SNSによる情報発信) ・特産品PR事業(日本遺産フェスティバル等への出展) ・八方ヶ原ツツジ保護事業(高木の伐採、殺虫剤・肥料の散布、枯れ枝除去及びモニタリング、遊歩道整備等) <p>【令和4年度以降】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記事業を継続し、観光資源の磨き上げを行う。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>【KPI】交流人口数 1,879,864人(R2) → 2,000,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①観光・特産品PR出展 ②大間々高木伐採 ③大間々レンゲツツジ 殺虫剤・肥料散布 ④大間々レンゲツツジ 枯れ枝除去 ⑤遊歩道整備	①観光・特産品PR出展 ④大間々レンゲツツジ 枯れ枝除去 ⑤遊歩道整備	①観光・特産品PR出展 ④大間々レンゲツツジ 枯れ枝除去 ⑤遊歩道整備		①観光・特産品PR出展 ④大間々レンゲツツジ 枯れ枝除去 ⑤遊歩道整備
事業費	1,022,511	300,000	300,000	1,622,511	300,000
市町支出金 (ソフト事業分)	875,000	300,000	300,000	1,475,000	300,000
うち県交付金	430,500	150,000	150,000	730,500	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	147,511	0	0	147,511	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	斎藤 厚夫
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	kankou@city.vaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	矢板駅前イルミネーション事業
事業主体の名称	矢板まちづくり研究所
代表者の名称	代表者 高柳 眞知子
事業主体の所在	〒329-2161 矢板市扇町1-13-1 ツーリングビル2階
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 矢板のまちとひとを元気にするため、まちづくり活動を行う</p> <p>・設立年月日: 平成18年2月26日</p> <p>・構成員等: 活動の趣旨に賛同する個人(会員数21名)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市の玄関口である矢板駅周辺の活性化に向け、駅が地域住民にますます身近な存在となり、地域住民の癒しの場、ふれあいの場として活用することが課題となっている。</p> <p>これまで、市民と駅周辺の事業主を中心に構成される矢板まちづくり研究所が2008年より本事業を実施しており、矢板の冬の風物詩として定着しているものの、会員の高齢化なども顕著化しており、事業に参画する新たな人材の確保が課題となっている。</p> <p>上記の背景のもと、近年では県立矢板高校の電子技術開発部と連携して、イルミネーションの作成を行うなど、新たな担い手の確保や、多団体との連携を進めている。</p> <p>矢板駅は一般の通勤者に加え、市内に3校ある高校に市外から通学する生徒が多数利用することから、これらに関係人口と捉え、将来的なU/Jターンを促すため、地域を身近に感じてもらうような活動が不可欠といえる。</p>
事業目的	<p>矢板市の玄関口である矢板駅前を、地域住民が主体となってイルミネーションで彩ることにより、矢板市の住民一人ひとりが矢板市に愛着と誇りを持ち、矢板市民という地域連帯意識を深めることを目的とする。また、市外から矢板市へ通学する生徒に対しても、高校生が参画した駅前でのイベントを実施することで、様々な利用者に対し地域への帰属意識を高めることを目的とする。</p>
事業概要	<p>・矢板駅西口を中心とした駅前を中心市街地において、住民主体によりイルミネーションの点灯と関連するイベントを企画する。</p> <p>【令和3年度】 現在、矢板駅西口広場から県道矢板停車場線の北に向かって、民間事業者による複合施設(矢板にぎわい館)や空店舗を利活用した施設(矢板ふるさと支援センター-TAKIBI)の開発が進んでいる。それを踏まえ、今年度からは同エリアまでイルミネーションを拡大し、冬の旧市街地を彩る。この取組みを通じ、商工会や観光協会、矢板ふるさと支援センター-TAKIBIなど、まちづくり団体の拠点と連携を図った。</p> <p>点灯期間 令和3年11月26日から令和4年1月13日 点灯時間 17:00から23:30 電球数 約3万球 ・音楽に合わせて動くイルミネーションの設置</p> <p>【令和4年度～5年度】 上記内容事業を継続し、地域住民や他のまちづくり団体、近隣高校生との交流を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標: 来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>KPI: 交流人口数(人) 1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流		①「矢板駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流
事業費	1,041,402	950,000	950,000	2,941,402	950,000
市町支出金 (ソフト事業分)	800,000	800,000	800,000	2,400,000	800,000
うち県交付金	400,000	400,000	400,000	1,200,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	241,402	150,000	150,000	541,402	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	阿久澤 大智
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	kankou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	片岡駅前イルミネーション事業
事業主体の名称	片岡地区コミュニティ推進協議会
代表者の名称	会長 高橋 正
事業主体の所在	〒329-1571 矢板市片岡2098番地3
事業主体の概要	<p>・団体の目的:地区住民の自治精神を基として関係諸機関、団体との連携を密にし、住民の自主参加を促し、地域連帯意識を深め、健康で文化的な生活が営めるような地域づくりをすることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和53年4月19日</p> <p>・構成員等:片岡地区各行政区の代表(役員数14名)</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本事業の主体となる片岡地区コミュニティ推進協議会は、平成20年度から片岡地区の玄関口である片岡駅前の活性化を図るため、イルミネーションで駅前を明るく彩る事業に取り組んでいる。</p> <p>平成26年に片岡駅がリニューアルし、駅西口に広場が設けられ、そこを活用した自転車のプロレースが市民の協力のもと開催されるなど、片岡駅は地域住民の集いの場としての機能が高まっているといえる。</p> <p>このような背景のもと、平成31年度からは事業規模を拡大し、地域の事業者や地域おこし協力隊の協力のもと飲食ブースや体験ブースを拡充するなどした結果、多くの地域住民が集う交流の場に成長している。</p> <p>今後は、本事業に関わる地域住民を増やすことで、片岡駅周辺のさらなる活性化や、冬季・夜間の防犯意識の向上が求められる。</p>
事業目的	片岡地区の玄関口である片岡駅前をイルミネーションで彩ることにより、片岡地区の住民一人ひとりが片岡地区に愛着と誇りを持ち、片岡地区の住民という地域連帯意識を深め、「健康で明るく住み良い地域づくり」に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>片岡地区住民および事業者で構成される片岡地区コミュニティ推進協議会を主体として、片岡地区の玄関口である片岡駅前を地域住民の癒しの場、ふれあいの場とし、さらには、防犯意識の向上を図り、本来の目的でもある「健康で明るく住み良い地域社会」の実現することを目的に、イルミネーション点灯式等を実施した。</p> <p>【令和3年度】 イルミネーション点灯式(片岡駅前) 点灯期間 令和3年11月29日から令和4年1月16日 点灯時間 17:00から23:30 ・イルミネーションの点灯</p> <p>【令和4年度～5年度】 上記事業を継続し、地域住民主体による交流の場づくりを推進する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる</p> <p>KPI:交流人口数(人) 1,879,864(R2)⇒2,000,000(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①「片岡駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「片岡駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流	①「片岡駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流		①「片岡駅前イルミネーション事業」実施 ②地域住民の交流
事業費	795,243	515,000	515,000	1,825,243	515,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	250,000	250,000	250,000	750,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	295,243	15,000	15,000	325,243	15,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	阿久澤 大智
電話	0287-43-6211
連絡先 FAX	0287-44-3324
E-mail	kankou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	高校生まちづくり活動事業
事業主体の名称	YAITA ALL DIRECTIONS
代表者の名称	代表 萩原 夕姫
事業主体の所在	〒329-2192 矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:若者が目指すまちづくりを推進するため、高校生が中心となり、地域の方たちと関わりあいながら、まちなかのにぎわい創出や地域活性化に寄与する活動に努める。</p> <p>・設立年月日:平成30年7月</p> <p>・構成員等:矢板市内に居住・在学する高校生および本会の目的に賛同する高校生</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市では、中心市街地の空洞化や少子高齢化が進行していることから、地域の活力低下などが課題となっている。そこで、市内の3高校の生徒が中心となり立ち上げた学生団体「Yaita All Directions」の取り組みを通じて、地域活性化を図るとともに、地域の担い手としての育成を目指す。</p> <p>これまで約3年間にわたり活動しているが、令和3年6月現在、メンバー17人(2年生9人、3年生8人)全員が矢板東高校生であり、矢板高校生、矢板中央高校生がいない。</p> <p>また、メンバーは高校生限定であり、秋には3年生が引退し、1・2年生に役員などを引き継ぐこととなることから、そのタイミングで主要メンバーが変わるため、その節目をまたいだ長期内容はなかなか実現が難しいことも新たな課題である。</p>
事業目的	<p>若者が目指すまちづくり活動を支援する。</p> <p>また、高校生が地域の方たちと関わりあいながら、矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>「YAITA ALL DIRECTIONS」(略称:YAD)は、平成30年7月に市内3高校(矢板東・矢板・矢板中央)の高校生7名によって設立された団体である。メンバーである高校生たちが、主体的にまちを盛り上げる取り組みを行い、その活動を通じて「居場所」を体感するとともに、活動拠点である「矢板ふるさと支援センター-TAKIBI」が高校生の集まる「居場所」となっていくようにしたい。</p> <p>【令和3年度の活動】</p> <p>①メンバーの拡充 ・ポスターや団体PRチラシの作成、まちあるきマップ第3弾の配布により団体PRを行い、他校生も含め、1・2年生のメンバー拡充を図った。</p> <p>②まちあるきマップの作成 -「おすすめスポットマップ第3弾」を作成し、配布を行った。 (配布先:市内3高校1年生、矢板駅、道の駅、図書館、ココマチ、TAKIBI等)</p> <p>③地域おこし協力隊との連携、イベントの計画・検討・実施 ・地域おこし協力隊と連携し、12月12日に長峰公園にて開催した気球搭乗などのアウトドア体験イベントにおいて、企画や、運営ボランティアに参加した。</p> <p>④その他 ・SNS(インスタグラム等)を活用した団体及び地域に関する情報発信を行った。</p> <p>【令和4年度以降】</p> <p>・活動の継続および新規事業を実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:安心して快適に暮らすことができる活力ある地域をつくる</p> <p>KPI:市民協働のまちづくり事例数(累計) 現状値(H28-R2)10団体→目標値(R3-7)14団体</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③イベントの実施 ④SNSを活用した情報発信	①メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③イベントの実施 ④SNSを活用した情報発信	①メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③イベントの実施 ④SNSを活用した情報発信		①メンバーの拡充 ②まちあるきマップの作成 ③イベントの実施 ④SNSを活用した情報発信
事業費	133,440	120,000	120,000	373,440	120,000
市町支出金 (ソフト事業分)	100,000	100,000	100,000	300,000	100,000
うち県交付金	50,000	50,000	50,000	150,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	33,440	20,000	20,000	73,440	20,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工担当
担当者名	主任 相馬 智美
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	svoukou@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	ともなり文芸祭り
事業主体の名称	ともなり文芸祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 松平 祐宣
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:優れた歌人として、鎌倉時代の文学史を飾った本市初代川崎城主塩谷朝業翁を偲び、ともなり文芸祭りを開催することにより、本市文化の創造と本市のイメージアップを図ることを目的とする。 ・設立年月日:平成13年5月23日 ・構成員等:文芸に秀でた市民9人が委員となっており、近代短歌研究者である篠弘氏が顧問を務める。
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>優れた歌人・塩谷朝業にちなみ、平成7年度、栃木県で開催された第10回国民文化祭において、矢板市が短歌会場となり大勢の愛好者が集った。これを契機に市民の文芸熱も高まり、この後、ともなり文芸祭りが開催されることとなった。平成26年度の第16回大会から誌上大会となり、県内から短歌、俳句、川柳、詩の4部門において作品を募っている。短歌一般の部は全国から募集することし、多くの応募があることから本市の知名度・イメージ向上に寄与しているが、文芸を通して市民に郷土愛の醸成を図っていくことが課題になっている。</p>
事業目的	<p>短歌・俳句・川柳・詩を通して市民文化が更に深化・発展することにより、心豊かな地域づくりを図る。また、短歌は全国から作品を募集するため、本市の知名度やイメージ向上のみならず、参加する市民が全国とのつながりを意識することにより、郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>【令和3年度】 矢板市の更なるPRや市民の向上心醸成を図るため、短歌部門において全国から作品を募集する。また、かつては市の委託事業として実施してきたが、現在ではこれまでのノウハウを活かし、当実行委員会が事業主体となって事業を展開している。また市内の小中学校とも連携し、若年層を対象とした郷土愛と国語教育発展の場とする。市民の文芸熱、郷土愛を醸成するため、「ともなり文芸祭り」誌上大会として以下の事業を実施した。 ①文芸作品の募集(7月～9月) 応募総数5,263点 ②入賞作品の審査・講評(10～1月) ③入賞作品集の発行</p> <p>【令和4年度以降】 本事業を通して文芸熱、郷土愛の醸成が図られるよう、広く作品を公募しながら本事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】来てもらう、住んでもらう、新しい人の流れをつくる(基本目標2) 【KPI】交流人口数(人) (R2)1,879,864 ⇒ (R7)2,000,000</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行		
事業費	1,114,627	1,114,000	1,114,000	3,342,627	
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	114,627	114,000	114,000	342,627	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課 文化担当
担当者名	平山 明美
電話	0287-43-6218
FAX	0287-43-4436
E-mail	bunka@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	地域共助型生活交通(コリーナ矢板・玉田)運行事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市支出金	1,287,825	矢板市より
料金収入	271,200	運賃収入、雑収入
雑収入	63,006	寄付、預貯金利息
計	1,622,031	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
賃金	602,000	602,000	0	0	ドライバー:5,000円×120日 選挙臨時便2,000円
消耗品費	139,274	139,274	69,637	0	車両マグネット、事務用消耗品ほか
燃料費	263,161	263,161	131,581	0	ガソリン代
修繕料	82,220	82,220	41,110	0	車両メンテナンス代
手数料	15,000	15,000	7,500	0	登録申請手数料、振込手数料
保険料	117,320	117,320	58,660	0	任意保険代
委託料	68,850	68,850	34,425	0	運転講習委託費
委託料	50,000	0	0	50,000	管理組合への業務委託費用
雑費	65,780	0	0	65,780	スタッフジャンパー
次年度繰越金	218,426	0	0	218,426	令和4年度事業へ繰越
計	1,622,031	1,287,825	342,913	334,206	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	HAPPY HAPPO Project 推進事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	300,000	運営費補助金①④
補助金	575,000	事業費補助金②③
繰越金	147,506	前年度繰越金
雑収入	5	利息等
計	1,022,511	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	60,097	60,097	30,048	0	①商品代
消耗品費	209,452	209,452	104,726	0	③殺虫剤・肥料購入代 ④作業用品購入代
燃料費	0	0	0	0	
食糧費	0	0	0	0	
通信運搬費	6,704	6,704	3,352	0	①パンフレット送付代
手数料	7,578	7,578	0	0	①②支払振込手数料
保険料	0	0	0	0	
委託料	726,480	590,969	292,374	135,511	②伐採委託料 ①パンフレット増刷等委託料
公課費	200	200	0	0	②委託契約印紙代
予備費	12,000	0	0	12,000	諸会費等
計	1,022,511	875,000	430,500	147,511	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	矢板駅前イルミネーション事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	800,000	市補助金
負担金	241,402	矢板まちづくり研究所負担金
計	1,041,402	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	5,362	0	0	5,362	点灯式出演者謝礼
消耗品費	108,522	0	0	108,522	イルミネーションほか消耗品購入
光熱水費	30,248	0	0	30,248	イルミネーション電気代
保険料	0	0	0	0	
手数料	770	0	0	770	振込手数料
委託料	896,500	800,000	400,000	96,500	電気工事及びイルミネーション設置委託費
計	1,041,402	800,000	400,000	241,402	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	片岡駅前イルミネーション事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	500,000	市補助金
負担金	253,447	協議会負担金
雑入	41,796	募金、催し物収入
計	795,243	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	0	0	0	0	
消耗品費	673,225	500,000	250,000	173,225	イルミネーション消耗品購入
光熱水費	0	0	0	0	
工事請負費	40,000	0	0	40,000	電気工事代
委託費	30,000	0	0	30,000	イルミネーション設置委託費
食糧費	52,018	0	0	52,018	飾付時食料代
計	795,243	500,000	250,000	295,243	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	高校生まちづくり活動事業	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	100,000	
繰越金	33,440	前年度繰越金
計	133,440	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	0	0	0	0	
印刷製本費	104,390	94,000	47,000	10,390	マップ、チラシ印刷代
通信運搬費	0	0	0	0	
保険料	15,750	6,000	3,000	9,750	ボランティア保険料
委託料	0	0	0	0	
備品購入費	0	0	0	0	
次年度繰越金	13,300	0	0	13,300	
計	133,440	100,000	50,000	33,440	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	矢板市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	ともなり文芸祭り	
対象年度	3	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
市補助金	1,000,000	
投稿料	103,000	短歌一般投稿料(1,000円×103組)
雑収入	4	銀行利息
繰越金	11,623	前年度繰越
計	1,114,627	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
消耗品費	25,408	0	0	25,408	事務用消耗品代、梱包材代等
報償費	408,848	400,000	200,000	8,848	選者謝金、入賞者賞品等
印刷製本費	442,079	440,000	220,000	2,079	要項チラシ(5300枚)、ポスター(500枚)、作品集(430冊)印刷料
通信運搬費	121,155	120,000	60,000	1,155	投稿用紙・入賞通知郵送料、記念品送料
広告費	44,000	40,000	20,000	4,000	短歌角川広告掲載料(1/2頁)
手数料	1,100	0	0	1,100	謝金振込手数料等
次年度繰越金	72,037	0	0	72,037	
				0	
				0	
				0	
計	1,114,627	1,000,000	500,000	114,627	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合